

日本原子力学会 水化学部会 第21回全体会議

開催日時:2022年3月7日(月)13:15~13:50

開催方法:Zoomによるオンライン開催

- 議事次第 -

(1) 活動報告

- ① 運営小委員会
- ② 部会賞選考
- ③ 企画担当
- ④ 定例研究会WG
- ⑤ アジア水化学シンポジウム2022実行委員会
- ⑥ 水化学ハンドブック改定WG
- ⑦ 広報担当
- ⑧ 「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告
- ⑨ 水化学部会会計報告(令和3年度)

(2) 水化学部会賞 細則の改訂について

- ① 経緯・目的
- ② 改訂概要
- ③ 水化学部会部会賞細則の改訂案

(1)活動報告

①運営小委員会 活動報告(1/3)

【第45回】

開催日時：令和3年6月30日（木） 10:00～12:00

開催場所：Webexによるオンライン開催

議題：

第41回 定例研究会について

水化学部会賞の運用方法と細則の見直しについて

3部会合同夏季セミナーの準備状況について

2022年春の年会 企画セッションについて

2021年度部会報の内容案について

AWC2022の準備状況について

2021秋の大会における講演賞の選考委員について

水化学ハンドブックの改訂状況について

福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成

物挙動研究専門委員会について

①運営小委員会 活動報告(2/3)

【第46回】

開催日時：令和3年11月18日（木） 10:00～12:00

開催場所：Webexによるオンライン開催

議題：

第42回 定例研究会について

水化学部会賞の運用方法と細則の見直しについて

大会年会開催方式について

2022年春の年会 企画セッションについて

2021年度部会報の内容案について

AWC2022の準備状況について

2022年度部会予算について

水化学ハンドブックの改訂状況について

①運営小委員会 活動報告(3/3)

【第47回】

開催日時：令和4年3月7日（月） 10:00～12:00

開催場所：Webexによるオンライン開催

議題：

第43回 定例研究会について

第20回全体会議資料について

水化学部会賞の運用方法と細則の見直しについて

2022年春の年会 企画セッションについて

2022年秋の大会 企画セッションについて

2021年度部会報の内容案について

AWC2022の準備状況について

2021水化学部会賞の選考結果について

2021春の年会 講演賞の選考委員について

「会友」制度新設に伴うアンケート回答について

水化学ハンドブックの改訂状況について

②2021年水化学部会賞

【奨励賞】

氏名:大谷 恭平氏 (原子力機構)

業績名:気液界面模擬環境における炭素鋼の腐食メカニズムに関する研究

【講演賞】

氏名:鈴木 恵理子氏 (原子力機構)

講演名:シビアアクシデント時の原子炉内におけるセシウム分布・性状の予測

(3) Cs化学吸着生成物の化学形態評価

(日本原子力学会 2021年春の年会において発表)

氏名:井元 純平氏 (原子力機構)

講演名:シビアアクシデント時の原子炉内におけるセシウム分布・性状の予測

(4) Cs化学吸着生成物の水への溶解性

(日本原子力学会 2021年春の年会において発表)

③企画担当 活動計画案

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
水化学国際会議 ラジオリシスWS		英(10/2-7) ▼		米(9/9-14) ▼		仏(9/27-14) ▼	仏(9/27-10/2) ▼		仏(9/25-9/29) ▼	
アジア水化学 シンポジウム	インド(9/2-4) ▼		中国(9/26-28) ▼		韓国(9/24-27) ▼		仙台(10/19) ▼	仙台(9/13-16) ▼		▼
原子力学会 企画セッション 部会総会	静岡大学 ▼	久留米ティフ子 北海道大学 ▼	岡山大学 ▼	富山大学 ▼	九州大学 ▼	オンライン ▼			▼	▼
	電子線加速器 1F廃止措置	1F廃止措置	1F廃止措置		水化学ロードマップ					
	東北大学 ▼	東海大学 ▼	大阪大学 ▼	茨城大学 ▼	福島大学 ▼	オンライン ▼	オンライン ▼		▼	▼
	FP挙動&ソース スターク解析					福島廃炉への 水化学	水化学標準の活用と 改定に向けて		▼	▼
サマー・セミナー 夏期見学会		MHI+九州電力 ▼ 第七回薩摩川内 (7/13-15)				日立GENE+東京電力 ▼ 第八回いわき (8/3-5)			日立GENE ▼ 第八回夏季セミナー	
	▼ 三部会合同夏季セミナー @芦原温泉(7/8-10)			東芝+中部電力 ▼ 三部会合同夏季セミナー @掛川(8/6-8)			三部会合同夏季セミナー(8/10,11) ▼ (核燃料部会主催)		三部会合同夏季セミナー ▼ (材料部会主催)	
定例研究会	オルガノ ▼	東芝 ▼	JAEA ▼	電中研 ▼	日立GENE ▼	東芝 ▼	Web ▼		▼	▼
	除染・廃炉技術 1F関連		SWIS	FAC	ラジオリシス		PWR二次系			
	四国電力 ▼	関西電力 ▼	四国電力 ▼	東北電力 ▼	北陸電力 ▼	中部電力 ▼	Web ▼		▼	▼
	再稼働対応 被ばく低減	被ばく低減	再稼働対応 被ばく低減	被ばく低減	補機冷却水系		多角的な原子力利用と水化学			
	日立GENE ▼	日本原電 ▼	東京電力 ▼	オルガノ ▼	日本原電 ▼	東芝(Web) ▼	Web ▼		▼	▼
	人材育成 水化学RM	NPC2016, 廃炉・ 水化学RM	廃止措置	水化学の 最新動向	PWR二次系 燃料材料と 水化学		部会賞受賞記念講演			

③企画担当 活動実績・予定(1/1)

1. 3部会合同夏期セミナー

- 2021年8月11日（水）12日（木）
核燃料部会が幹事を担当、Webで開催
- 次回は、2024年に材料部会が幹事を担当。詳細は今後検討。

2. アジア水化学シンポジウム

- 2022年9月13日（火）～16日（金）にWeb形式で開催予定

3. 水化学国際会議

- 2023年9月25日（月）～9月29日（金）
フランス、AntibesのJuan-les-Pins Congress Centerで開催予定

4. 水化学部会夏期セミナー

- 次回は、2023年開催を予定。詳細は今後検討

④定例研究会WG 活動報告(1/2)

【第40回】※講演概要は、部会ホームページに掲載

開催月日：2021年6月30日

開催場所：Web

基調テーマ：「PWR二次系の水化学」

講演者：水化学部会賞受賞記念講演：東北大学 熊氏，
関西電力 赤嶺氏、三菱重工 前田氏

【第41回】

開催月日：2021年11月18日

開催場所：Web

基調テーマ：「多角的な原子力利用と水化学」

講演者：JAEA 久保氏、QST 中島氏

④定例研究会WG 活動報告(2/2)

【第42回】

開催月日：2022年3月7日

開催場所：Web

講演者：水化学部会賞受賞記念講演（3名）：

JAEA 大谷氏, JAEA 鈴木氏、JAEA 井元氏

今後の予定

【第43回】

開催月日：2022年6月頃

⇒ 調整中

開催場所：—

【第44回】

開催月日：2023年3月頃

⇒ 調整中

開催場所：—

⑤AWC2022実行委員会

■ AWC2022概要

- ・ 日時:2022年9月13～16日（各日とも13:00～18:00）
- ・ 形態:オンライン
- ・ 主催:原子力学会(水化学部会)
- ・ 共催:東北大学 原子炉廃止措置基盤研究センター
- ・ 実行委員長:渡邊 豊(東北大学)

■ 講演申し込み、参加登録について

- ・ 講演申込期日:4月30日
- ・ 講演予稿提出期日:7月31日
- ・ 参加登録期日:8月31日

■ 参加費

- ・ 一般(原子力学会員):20,000円
- ・ 一般(非会員):30,000円
- ・ 学生(原子力学会員):無料
- ・ 学生(非会員):5,000円

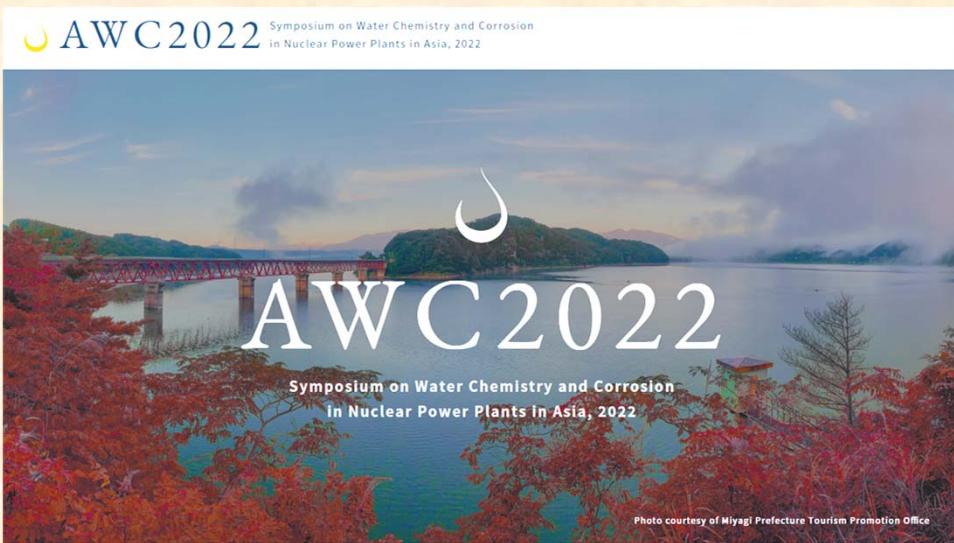
⑤AWC2022実行委員会

■ 活動状況

- ・ 実行委員会 第1回打ち合わせ(令和4年1月20日(木)10:30～12:30)
- ・ 実行委員会 第2回打ち合わせ(令和4年2月21日(月)10:00～12:10)
- ・ 実行委員会 第3回打ち合わせ(令和4年3月7日(月)15:50～)

■ 特記事項

過去の実績を踏まえて、見込み参加者数を140名として参加費を設定しています。積極的な講演申し込み・参加をお願いいたします。



確定した情報はホームページ
(<https://awc2022.sakura.ne.jp/>)
に順次掲載します。
講演申し込みもホームページから
お願いいいたします。

⑥水化学ハンドブック改訂WG 活動報告

原子炉水化学ハンドブック（2000年発行）の改訂

- 初版発刊から20年が経過しており、最新知見による記載内容の更新、1F事故の経験で得られた重要知見を追記することとし、2018年2月にWG発足。

【新たに追記する項目】

第 4章（核分裂生成物挙動）

第11章（福島第一汚染滞留水の処理処分）

- 2021年12月に出版社との契約締結、出版準備中。
- 本年夏ごろ発刊予定。

⑦広報担当 活動報告

1. 水化学部会ホームページの管理

◆水化学部会活動報告等の水化学部会員他への情報発信

- ✓ 部会賞の募集や受賞者の紹介
- ✓ 運営小委員会議事録、定例研究会他掲載による活動報告
- ✓ 技術報告書、活動報告書の発刊掲載
- ✓ AWC2022関連情報の掲載

◆水化学部会関連活動の情報共有(関係者限定)

- ✓ 水化学ハンドブック改訂WG

2. 水化学部会報 第13号の発行準備 (2022年3月末予定)

- 1)巻頭言
- 2)研究アーカイブズの意義
- 3)水化学部会賞の受賞内容
- 4)水化学部会活動報告
- 5)編集後記

⑧「1F廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告

1. 「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会

- ・2021年3月で、「シビアアクシデント時核分裂生成物挙動」研究専門委員会の活動を終了。
- ・2021年6月より、「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会の第1期の活動を開始。
- ・延長を含め、2025年3月まで、10部会横断で活動の予定(委員約50名)。

名称:「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会

主査:勝村庸介・東大名誉教授

成果目標:検討内容を技術報告書として出版。企画セッションでの討論と解説記事の掲載。

2. この1年間の活動報告

- ・研究専門委員会本会議:これまで2回開催。第1回(2021/7/9)、第2回(2021/11/5)
- ・拡大幹事会の設置: 第1期2年間の調査活動を4つの拡大幹事会にて推進。
後期の2年間でロードマップを策定する予定。
- ・幹事会:これまで7回開催。拡大幹事会の活動状況共有、企画セッションの立案・準備促進。

3. 今後の活動

- ・2022年春の年会で企画セッション開催 2022年3月17日(木)13:00-14:30 H会場

「福島第一原子力発電所廃炉に係る核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動方針

座長 東芝エネルギー・システムズ・高木幹事

(1)研究専門委員会の目的と活動方針

JAEA・三輪幹事

(2)PCV内線量率分布評価とその課題

JAEA・奥村氏

(3)1F廃棄物処理のための分布とFPの挙動

JAEA・駒 氏

(4)拡大幹事会活動状況

日立製作所・和田幹事

⑨水化学部会 会計報告 (2021年度)

単位：円

			予算計上額	実績見込み※1	備考
2021 年度	通常	収益	129,050	123,000	受取配分金
		支出		6050	報告書売り上げ
				5,238	レンタルサーバー代
	出版			100,000	会議・旅費交通費※2
				22,000	一般外注経費※3
	セミナー	収入・支出	0	0	

※1：2021年11月現在の実績ベース、※2：本会議を対面で行う可能性があったため、※3：HP改訂や部会賞の経費

		収入	支出	備考
2022 年度	通常	120,000	872,000※2	会議室利用料、旅費の補助、レンタル サーバー代、AWCの負担金
	出版	0	0	
	セミナー	0	0	
	(参考) 2021年度繰越	5,176,629		2021年3月末の実績

※2：計画外予算申請により一部繰越金を充当

(2) 水化学部会賞 細則の改訂について

① 経緯・目的

1. 水化学部会賞創立経緯

若手技術者による水化学部会活動への貢献を顕彰し、モチベーション向上を図るため、2018年10月に水化学部会賞（奨励賞、講演賞）を設立

2. これまでの受賞者（敬称略）

第1回（2019年度）

奨励賞：端 邦樹、黃 彦瑞

講演賞：館 和希、有賀 智理、柴崎 理

第2回（2020年度）

奨励賞：熊 一達

講演賞：根岸 孝次、洞山 祐介

第3回（2021年度）

奨励賞：大谷 恭平

講演賞：鈴木 恵理子、井元 純平

①経緯・目的（つづき）

3. 改訂の経緯

- ・これまでの運用を踏まえて、改善すべき点、検討すべき点について選考委員にて議論
- ・次の点について改善を図るべきと結論

4. 要改善点

- (1) 細則に記載されている受賞資格の明確化(奨励賞)
- (2) 記載の適正化(奨励賞、講演賞)

②見直し概要

(1) 受賞資格の明確化(奨励賞)

【改定理由】

・現状の受賞資格の記載は他の学協会との重複受賞を認めないとの誤解を招く表現となっていたため、これを見直すこととする。

【改定方針】

・日本原子力学会の他部会との重複受賞のみを制限する旨を明記する。

②見直し概要

(2)記載の適正化(奨励賞, 講演賞)

【改定理由・改定方針】

- ・受賞対象とする期間が分かり難いため明確化(奨励賞)
- ・過去の講演も対象とするかのような記載を削除(講演賞)

③水化学部会部会賞細則の改訂案

(目的)

第1条 本細則は「水化学部会規約」第1条、第3条ならびに「部会・連絡会・支部表彰制度規程」(0110)第1条に基づき、水化学部会部会賞(以下、「部会賞」という)について定めることを目的とする。

変更なし

(趣旨)

第2条 若手技術者による水化学部会活動への貢献を顕彰し同分野の発展をうながすことを目的として、部会賞を授与する。

変更なし

(表彰の種類、対象、要件)

第3条 部会賞に下記賞を設ける。

2 奨励賞：原子力発電に係る水化学分野に関する顕著な学術または技術上の業績のあった40歳以下(発表時)の水化学部会員または学生部会員^(※)に授与する。

(※)応募時点で水化学部会員または学生部会員でない場合でも、応募後速やかに入会した者に対して授与する。

改定箇所

(1) 応募の日から過去3年以内に査読付きの学術誌に筆頭著者として1報以上発表しており、同様の研究内容で(一社)日本原子力学会の他部会の奨励賞等を受賞していない個人のうち過去に同賞を受賞していない個人を対象とする。~~なお、過去3年間の論文を対象とする。~~

(2) 原則として、毎年3名以内とする。

③水化学部会部会賞細則の見直し案（つづき）

(表彰の種類、対象、要件)

第3条 部会賞に下記賞を設ける。

2 奨励賞：(前項の通り)

3 講演賞：日本原子力学会または水化学部会が主催もしくは共催する行事において、原子力発電にかかる水化学分野の研究・技術開発成果について、優れた口頭発表をおこなった40歳以下(発表時)の水化学部会員または学生部会員^(※)に授与する。

(※)応募時点で水化学部会員または学生部会員でない場合でも、応募後速やかに入会した者に対して授与する。

(1) 国際会議(Nuclear Plant Chemistry Conference (NPC), Symposium on Water Chemistry and Corrosion in Nuclear Power Plants in Asia (AWC))および日本原子力学会「春の年会」、「秋の大会」で口頭発表した個人のうち過去に同賞を受賞していない個人を対象とする。~~なお、過去3年間の行事(講演)を対象とする。~~

(2) 原則として、毎年3名以内とする。

改定個所

③水化学部会部会賞細則の見直し案（つづき）

(選考方法)

変更なし

第4条 部会賞選考小委員会を設置する。選考小委員会は、部会長が指名する運営小委員会委員6名以上で構成する。

- 2 選考対象者あるいは推薦者となった者は、選考小委員会の委員にはなれない。
- 3 委員の辞退等により選考小委員会の委員数が6名を下回った場合には、委員を追加指名する。
- 4 委員名は選考時には公表しないこととし、公正を期すため選考小委員会の任期後に公表する。
- 5 選考小委員会は、水化学部会ホームページ、水化学部会連絡メールにより奨励賞および講演賞の募集を公告し部会員に周知し、水化学部会員に水化学部会賞(奨励賞)および水化学部会賞(講演賞)受賞候補者の推薦(自薦および他薦)を求める。
なお、複数の著者がいる論文を対象として奨励賞に推薦された者については、被推薦者の貢献度について、推薦者に説明を求めることができる。

③水化学部会部会賞細則の見直し案（つづき）

(表彰時期)

第5条 奨励賞および講演賞の表彰は、部会全体会議にておこなう。

変更なし

(選考結果報告)

第6条 表彰決定後、選考過程および選考結果を理事会へ報告する。

変更なし

(改定)

第7条 本細則の改定は、水化学部会全体会議が決定し、部会等運営委員会ならびに理事会に報告するものとする。

変更なし

(その他)

第8条 本細則で定められていない事項については、運営小委員会において協議する。

変更なし